

日時：2017年8月8日（火）17:00～19:00

場所：大東文化大学 板橋校舎

3号館2階30203教室

講演者：小野 広司 福島民友新聞社編集局次長

論題：復興へ歩む福島県民

福島民友は、地域に密着したメディアとして、震災後6年の福島の歩みを、県民とともに見つめ、世界に発信してきた。今回は、福島民友社の小野広司氏におこし頂き、その歩みを振り返りながら、現状と課題を説明して頂いた。

震災直後の状況については、記者が撮影した写真を数々ご紹介いただき、リアリティ溢れる現場の状況を把握した。特に、原発事故に関連する数々のお話を頂いたが、その中でも、強制避難で病院から寝たきりのお年寄りを自衛隊のバスに乗せ避難した際に亡くなられた方が多くおられたことをご紹介いただいた。

現状としては、風評被害の問題が取り上げられた。風評被害の問題の背景には放射線教育の不足がある。現在おこなわれている福島県での取り組みを全国的な取り組みにしていかなければならないと改めて認識できた。

最後に次のようなメッセージを頂いた。「原発からの汚染水の問題、廃炉の問題等、課題は山積している。今後の復興にも巨額な予算が必要となる。これは政治の問題と関係することになる。そうなれば福島県外の人々がどのような意思表示をするかにかかってくる。そのためにも、福島の状況に関心を持って欲しい」。

